

年 度 評 価 シ ー ト

課名 子ども未来課

施設の名称 城東子育て支援センター	指定管理者名 特定非営利活動法人 なのはな
<p>1 履行状況</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月3日から31日まで休館となったが、年間を通して協定書（仕様書）及び事業計画書に従って、適切に履行されている。</p> <p>(1) 維持管理業務 施設内の衛生管理・清掃業務や設備の日常点検等、仕様書に沿って適切な施設管理、良好な環境整備が行われている。</p> <p>(2) 施設利用者数 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月は1日のみの開館となったこともあり、乳幼児とその保護者を対象とした子育て交流サロンの利用者数は20,118人（前年23,928人）と減少したが、相談件数は1,889件（前年1,662件）と増加している。</p> <p>(3) 事業実施状況 【講座、イベント等】 子育てに関する交流事業、相談事業、情報の収集や提供などについて、事業計画に従って適切に行われている。 子育てに関する講座等を200回以上実施し、地域のこども園、保育園、民生主任児童委員、保健福祉センター等との連携を深めることを目的とした連絡会を年2回開催している。</p> <p>(主な事業)</p> <p>① 親子のコミュニケーションアップのための活動 絵本読み聞かせ、わらべ歌、手遊び、お散歩、水遊び、工作活動など</p> <p>② 親力アップのための活動 助産師さんに聞いてみよう、タッピングタッチ、心理士さんに聞いてみよう、子育てママの井戸端会議、赤ちゃんとおそぼ（城東保健福祉センター共催）など</p> <p>なお、子育て相談事業については、面接、電話合わせて年間1,889件となり、前年度の1,662件を大幅に上回った。発達・発育や生活習慣、育児不安等について多くの相談が寄せられている。</p> <p>また、保育士以外にも臨床心理士・心理カウンセラーが配置されており、年間397件の相談を受けている。自身・家族などさまざまな問題を抱えた親がいる中で、幅広い内容の相談に対応することができる。</p> <p>【食育】 お昼の時間帯に子育てセンターを解放し、親子での食事の時間を設け、食育活動を実</p>	

施している。(年間2,065組)食を通しての親子の交流の場を提供していると同時に、施設内の喫茶店で働く障害をもつ方との触れ合いの機会となっている。

【ボランティアの受け入れ、地域との連携】

ボランティアの受け入れ・地域との連携を積極的に行っており、小学生から社会人までさまざまな方が活動しており、地域との交流につながっている。

(主な内容)

養成講座を修了した子育てサポーター、小中高生による夏休み福祉体験、中学校職場体験、常葉短大・静岡県立短大実習生受入、支援センターまつり、城東保健福祉エリア地域交流まつり、城東ブロック連絡会年2回開催

(4) 職員の配置状況、職員研修等

仕様書に基づき、常時2名以上の育児・保育に関する相談指導等について相当の知識及び経験を有するものを配置しており、うち1名は施設長として配置している。なお、保育士以外にも臨床発達心理士を1名配置(週2～3日)し相談に対応している。

研修については、年2回開催する城東ブロック連絡会における実践研修のほか、市主催の研修会や法人主催の研修会に積極的に参加し、より質の高い子育て支援センターの運営に努めている。

2 市民(利用者)からの意見・要望の内容とその対応状況の評価(クレーム対応等)

利用者からのクレームはなかった。

0歳児の利用が増えたことから、0歳児の母親とマタニティ期の母親が参加する事業を展開したり、利用者の声から必要とするサポートを提供している。

3 市民(利用者)へのアンケートや満足度調査の状況評価

講座等については「とても満足」「やや満足」が100%、施設的环境については「とても満足」「やや満足」が100%、職員の対応についても「とても満足」「やや満足」が100%という結果であり、多くの利用者に対し満足いくサービスが提供できている。

利用者の自由記述においても、「職員が親身になってくれて、雰囲気も落ち着く」「開放感があり清潔で過ごしやすい」「気軽に相談ができて利用しやすい」など好意的な意見が多く、利用者にとって利用しやすい環境が提供できていることが分かる。

4 指定管理者の経理状況の評価

指定管理業務の収支状況については概ね適切な経理状況である。

今後も効率的な運営に留意し、より充実した事業実施のための予算執行を望みたい。

5 総括的な評価(課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況など)

前年度事務自己発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

《新型コロナウイルス感染症への対応》

新型コロナウイルス感染症への対応については、市の要請に基づき、適切な時期から講座や行事等の自粛や施設の休館等の対応が図られた。

この際、掲示板等により利用者への周知が適切な時期・方法で行われている。

全体的に良好な地域子育て支援拠点事業の提供が行われている。

職員のあたたかい接し方が利用者に評判となっており、安心して利用できる環境を提供していることから、今後もこの取組を継続していただきたい。

また、保育士以外に臨床発達心理士を配置し、フロアーでの何気ない相談にも応じる体制をとっており、利用者目線に沿った対応が図られている。

城東保健福祉センターや地域と連携した事業を展開しており、近隣の学校等とも良好な関係を築いている。今後のさらなる連携強化を期待する。

※事務事故が発生したとき及びモニタリングにおいて改善の指導があったときは、必ず改善状況を記載すること。